

(安八町の概要)

担い手	農業法人	3法人	集落営農	2組織	認定農業者	22人	農家	865件
	⇒ 零細農家が多							
農地	圃場整備が遅れている。町内全域が用排水未分離 農地の集積・集約が進んでいない。							
機構利用	低調							

令和2年度の取り組み

令和元年度：森部地区で調査
⇒ 令和2年度は町内全域に拡大

○アンケート調査内容

貸借意向 集約意向 営農継続

○地図の作成

町内全集落をシームレスな1枚の地図とし、調査結果を表示。
⇒ 自集落だけでなく隣接集落の状況も確認できることで、より広域な視点で話し合いができるようになった。

○集落での話し合いを実施

担い手確保の方針は、
**「まずは地元、次に町内、
それでもだめなら町外」**
今後も話し合いを進めていく。

取組の成果と反省

担い手は簡単には見つからないが、
集落の意識は確実に向上。

○成果

過去に森部地区で行った調査手法を町全域に広げたことで、農地の出し手や集落営農等の集約状況が一目瞭然となり、誰にでも分かりやすく、訴求効果の高い地図となった。
話し合いの場でも反応は良好。

○反省点

担い手の掘り起こしについては、アンケート調査では積極的な回答が得られにくい。やはり地域での地道な話し合いが必要。

今後の展開と方向性

話し合いを継続し、担い手の確保と農地の再編を目指す。

○今後の展開

コロナ禍の中、集落座談会など人が多く集まる話し合いの開催が困難。
参加者を農家全てではなく、担い手を中心とするなど、状況に応じた話し合いを進めていく。

○方向性

今後は担い手の確保と農地の集積を進めていくが、まずは小規模な集約や農地の入替などを行い、分散農地の再編を図っていく。農地の集約・再編が進めば、結果として担い手も探しやすくなる。